

わかすき

vol.146 2020.7



公益財団法人
三重こどもわかもの育成財団
三重県立みえこどもの城

〒515-0054
三重県松阪市立野町1291
中部台運動公園内
TEL0598-23-7735 FAX0598-23-7792
ホームページ <https://www.mie-cc.or.jp>



P.2~3 中学生のメッセージ2019



P.4~5 青少年育成市町民会議活動紹介
サテライト事業



P.6~7 地域協働大型イベント



P.8 高校生との企画



財団のシンボルマーク

地域社会の大きな枝葉が、子どもや若者や家族を温かく包み込むように支えるマークとなっています。中心の円の三色はそれぞれ黄色は「子ども」、オレンジは「若者」、青色は「家族」を表しており、地域社会とともに育成支援をしていくという当財団の思いを表しています。

今年も中学生主体の感動的な大会となりました！

中学生のメッセージ2019

令和元年8月31日(土) 龜山市文化会館 大ホール

本年度は、県内82の中学校から12,082点にのぼる多くの作文の中から最終審査に残った14名の発表を行いました。各中学校や青少年育成市民会議の皆さんの大いに支えられ、感動的な大会となりました。発表者の皆さんには発表することで自分自身を見つめ直すきっかけとなり、自信を深め、今後につながる機会になったことでしょう。司会・受付・案内・表彰アシスタントを地元亀山市と鈴鹿市の中学生の皆さんが運営し、また、亀山市立中部中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏が行われました。

そして嬉しいことに、今回、最優秀賞に輝いた鈴鹿市立平田野中学校3年石田晴香さんが、中部・近畿ブロック選考を通過、全国大会に出場し、国立青少年教育振興機構奨励賞を受賞しました。



中学生による運営の様子

中学生のメッセージ2019 受賞者一覧



最優秀賞
殺処分のない未来に向けて
石田 晴香さん 鈴鹿市立平田野中学校 3年



優秀賞
家族は「チーム」
河合 涼歌さん 鈴鹿市立白子中学校 2年



優良賞
黙る責任
松塚 さくらさん 伊賀市立上野南中学校 2年

LGBTと私
味山 千夏さん 名張市立赤目中学校 3年

「お弁当と真意」
小川 実桜さん 亀山市立中部中学校 1年

「私たちの町」
倉本 早紀さん 熊野市立神上中学校 3年

「命と向き合う」
小出 帆華さん 三重大学教育学部附属中学校 2年

食品ロスをなくすためには
豊田 れのんさん 亀山市立関中学校 3年



ご協力いただいた企業・団体様 (※五十音順、敬称略)

株式会社アクアイグニス／株式会社アーステックTAGAWA／五十鈴電業株式会社／社会福祉法人伊勢亀鈴会／イセツ株式会社／エコロプラス
M&Tコーポレーション／株式会社エンジョイ／有限会社岡井博進堂／岡三証券株式会社松阪支店／株式会社岡本組津支店／OK電気商会／株式会社オリスター
株式会社かんぽ生命保険三重支店／株式会社ぎゅーとら／桑名三重信用金庫／グッディ／サンコーロジテック株式会社／JAバンク三重
鈴鹿中央ライオンズクラブ／勢州建設株式会社／株式会社ぜにや／総合保険の有限会社丸山／株式会社第三銀行／千巻印刷産業株式会社／株式会社司
社会福祉法人津市社会福祉協議会／株式会社津松菱／東邦液化ガス株式会社松阪営業所／有限会社トータルインテリアタグチ／パイロットインキ株式会社
株式会社百五銀行／株式会社ファースト／有限会社プラスサポート／株式会社松阪電子計算センター／有限会社松本水道／公益社団法人三重県医師会
公益社団法人三重県歯科医師会／特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会／一般社団法人三重県薬剤師会／三重交通株式会社／三重コニックス株式会社
有限会社三重パピング工業／ミライズ税理士法人／有限会社山室石油／米川宗七活版所／理想科学工業株式会社

石田さんの作文は、財団ホームページ
(<http://www.mie-cc.or.jp/ikuseihp>)に掲載しています。

祝 全国大会出場!



令和元年12月8日(日)

国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「第41回少年の主張全国大会」に石田さんが出場！三重県代表として堂々と発表しました。

運営参加協力中学校

以下の中学校の生徒に協力していただきました。

司会・受付・案内 鈴鹿市立平田野中学校、鈴鹿市立白鳥中学校、鈴鹿市立鈴峰中学校
表彰アシスタント 鈴鹿市立創徳中学校、亀山市立亀山中学校、亀山市立関中学校
吹奏楽演奏 亀山市立中部中学校吹奏楽部
デザイン画 鈴鹿市立白子中学校2年 正田 夢奈さん
デザイン画協力 鈴鹿市立平田野中学校、鈴鹿市立白鳥中学校、鈴鹿市立大木中学校、鈴鹿市立千代崎中学校
鈴鹿市立白子中学校、鈴鹿市立天栄中学校、鈴鹿市立鈴峰中学校、鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校
鈴鹿市立創徳中学校、亀山市立亀山中学校、亀山市立中部中学校、亀山市立関中学校

審査委員

※敬称略、順不同

審査委員長 国立大学法人三重大学 学長 駒田 美弘
審査委員 三重テレビ放送株式会社 常務取締役 間野 丈夫
亀山市教育委員会 教育長 服部 裕、鈴鹿市教育委員会 教育長 中道 公子
三重県小中学校長会 幹事（鳥羽市立答志中学校 校長）掛橋 敏也
三重県PTA連合会 副会長 伊川 真樹、三重県私学協会（高田中学校 中学主任）福山 茂
三重県教職員組合 中央執行副委員長 黒田 喜昭、三重県子ども・福祉部 次長 中山 恵里子
公益財団法人三重こどもわかもの育成財団 副理事長 水元 正



運営協力中学生



吹奏楽演奏



デザイン画展



大人からの応援メッセージ展

次回は、伊賀地区で開催！



次回開催の伊賀市青少年育成市民連絡会議
岡山副会長にバトンを渡しました！



青少年育成市町民会議 活動紹介

県内の各青少年育成市町民会議では、青少年の健全育成を目的とし、様々な活動をしています。今回は4つの市町をご紹介します。

南勢志摩支部 玉城町青少年を育てる会

玉城町青少年を育てる会は、昭和54年に設立され、青少年の健全育成のため、あいさつ運動や体験教室などを行っています。

あいさつ運動「愛の一声運動」は、7月から翌年3月（8月を除く）までの毎月第3火曜日、朝の出勤・通学時間に、「あいさつでつながる地域づくり」を目指し、JR田丸駅周辺で実施しています。この運動には、高校生父母の会の役員やボランティアの方々にも協力してもらっています。

体験教室「ちゃれたま！」は、玉城町の子どもや地域の人たちがチャレンジ精神を持って、いろんなことに前向きに取り組み、もっと元気になって欲しいとの願いを込めて、3歳児から小学6年生を対象に開催しています。一例として、人気講座である「親子deちゃれんじ！天体観測教室」は季節を変えて年4回開催しています。天体望遠鏡で惑星や星座の観察、時にはモバイルプラネタリウムで星座の話を聞いたりします。



伊賀支部 名張市青少年育成市民会議

名張市青少年育成市民会議は昭和54年6月に発足しました。現在、32の団体・機関で構成されており、構成員は3つの部会、総務、青少年活動推進、非行防止・環境浄化に所属し活動を行っています。総務部会では、研修会の開催や社会を明るくする運動、ジュニアリーダーの養成講座を実施しています。とりわけ、ジュニアリーダー養成講座では、将来にわたって地域での様々な活動を中心として担っていく青少年の育成を図るべく、心構えや安全な事業運営を学ぶ機会としています。青少年活動推進部会では、各種団体により年間6回程度「子どもなんでも体★験★団」を実施するとともに、ジュニアリーダー養成講座の修了生で組織する「名張Kidsサポートクラブ」の実践的な活動の機会を生み出しています。非行防止・環境浄化部会では、「名張少年サポートふれあい隊」を組織し、街頭活動を推進し、青少年にとっての有害環境の浄化と、非行の未然防止に努めています。

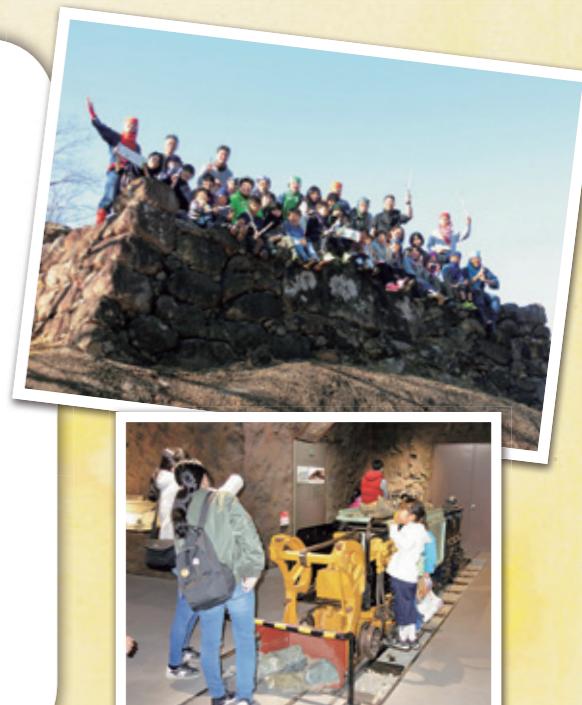
紀南支部 熊野市青少年育成市民会議

熊野市青少年育成市民会議は9地区の市民会議から構成されており、各地区で地域の子どもたちのために活動を行っています。また、本部が中心となって行っている活動もありますので今回はその1つを紹介させていただきます。

平成30年から熊野市内の全小学校の希望児童とその保護者を対象とし、NPO法人あそぼらいつの協力のもと「熊野市青少年育成市民会議ふれあい活動」と題したイベントを行いました。平成30年・令和元年度は紀和鉱山資料館の見学と国の史跡である赤木城を舞台としたNPO法人あそぼらいつ環境Museum「アフタフ・バーバン」の忍者修行体験を企画しました。

地元とはいえ普段はなかなか行くことがなかった施設を見学し、鉱山資料館の魅力を知ってもらえたことや、赤木城跡での体験活動を通して子どもと保護者が一緒に「遊ぶ」ことの大切さ、楽しさを保護者の方に再認識してもらえたことが大きな成果であったと思います。

今年度も魅力ある活動を通して、子どもとの関わりを深めていきたいと考えています。



みえこどもの城サテライトいなべ・くまの」を是非ご活用ください

遊び（カプラ・工作）の提供がみえこどもの城だけでなく、県内で広く行えるように、令和元年度から「いなべ」と「くまの」に事業の拠点をつくりました。元年度はそれぞれの拠点先がカプラ指導やカプラの貸出事業を実施し、のべ9,500名をこえる参加がありました。さらに今年度からは工作指導も実施予定です。

連絡先 サテライトいなべ 「放課後子ども教室 ほくせい」
サテライトくまの 「特定非営利活動法人 あそぼらいつ」

代表 小川 時生
代表 黒瀧 一輝

☎ 0594-82-1388
☎ 0597-89-5607

三重県青少年育成市町民会議連合会設立について

当会は、令和元年6月27日（木）に県内市町民会議及び育成財団等、地域の青少年育成団体が相互提携のもとに広く県民の総意を集結し、青少年の健全な育成を図ることを目的として設立しました。

役割として、市町民会議等の主体的な地域の活動を支え、青少年の健全育成に寄与することとしています。なお、事務局や会計については当育成財団が担っています。

連合会では、青少年育成市町民会議等の地域活動への支援等（こどもわかもの地域活動支援事業等）を、当育成財団からの助成金を使って行っています。

第2回 おやつの城 in みえこどもの城

令和元年5月25日(土)、5月26日(日)

平成30年3月に初開催し、大好評のため2回目の開催となった「おやつの城 in みえこどもの城」。みんなが大好きなおやつでいっぱいのイベントは、12の企業・団体によるお菓子作り、駄菓子屋さん体験、クイズスタンプラリーなど楽しい企画が盛りだくさん。2日間で約5,000名のご家族の来場がありました。

令和元年5月26日(日) 夢のお菓子デザイン画表彰式

「みんなが食べたいわくわくするようなお菓子」をテーマに、平成31年2月9日(土)～3月31日(日)の期間中、みえこどもの城館内でデザイン画を募集しました。募集総数は274点!その作品から厳選された12名の方の表彰を行いました。

参加企業・団体 ※敬称略・順不同
主催:公益財団法人三重こどもわかもの育成財団(三重県立みえこどもの城)
おやつの城実行委員会(柳屋奉善、ドゥース・ド・フランス有限会社ふらんす、いせわんこ事務局、井村屋グループ、株式会社ジェントリー、はぐくみ隊、株式会社風味堂、株式会社ポンタイム、株式会社マスヤ)
協力:ANNIVERSARY、有限会社モンマルトル小泉(1010番地)、三重県立相可高等学校、ユマニテク調理製菓専門学校、あいや菓子店、有限会社小原木本舗 大徳屋長久、株式会社笹屋、たつみ堂鶴の玉本舗、有限会社珍海堂、八昇製菓株式会社、有限会社深川屋、有限会社平治煎餅本店、株式会社三重寿庵、有限会社夢菓子工房 ことよ後援:三重県菓子工業組合、松阪市

第7回 キッズ☆おしごと広場

令和元年7月6日(土)、7日(日)

来館者数 7,360名 参加企業 35社 参加企業スタッフ 186名 学生ボランティア 95名

今年で7回目となる「キッズ☆おしごと広場」。今回は新たに2社の参加をいただき、県内の企業・団体の協力のもと、延べ約3,000体験を用意しました。2日間で約1,300名の子どもがさまざまなおしごとを体験しました。今年のテーマは、「目標をもって挑戦しよう」。体験した子どもからは「難しかったけど、最後までできてよかった」といった、下記のありがとうのメッセージがたくさん寄せられました。

協力企業・団体 ※敬称略・順不同
株式会社エムワン(はあと薬局) くすりのんでいろいろ、どうやってできるのかしらなかったのです。
有限会社ケアステーションたきび 車いすをうかすのは大変なのがわかりました。のっていう人を安全にやるのは難しいことがわかりました。
岡三証券株式会社 松阪支店 お兄さん、お姉さんがたのしくやさしくおしゃれくれたからわかりやすかった。世界のお金がたくさんしゃるいがあるといきました。
一般社団法人三重県理学療法士会 病院はお医者さんや看護師さんだけがと思っていたけど、患者さんがふつうの生活ができるように理学療法士という人が改善できるようになんばっているのだといった。

サイエンスフェスタ in みえこどもの城

令和元年8月10日(土)

来場者数 約2,300名 参加企業、団体、高校生ボランティア等 約100名

夏休みの期間に科学やものづくり体験を楽しんでもらう「サイエンスフェスタ」を実施しました。館内では、プログラミング体験や標本作りなどの様々なイベントを行いました。

体験 まつかペットボトルロケット大会、ぼくら生き物調査隊、そっくりなものをつくってみよう!～モデリング体験～、タッチプール～干潟の生き物とふれあおう～、生態系をささえる土壤どうぶつを知ろう!、あそんで学べるモビールづくり、プログラミング体験教室～ミニパソコンでゲームを作ろう～、干潟の貝やカニについて知ろう!

展示 ペットボトル簡易雨量計、備長炭電池、蒸気エンジン、手回し発電機、シャボン玉、過去の電子工作作品、音楽ロボット演奏

講演 JAXA職員岡田修平さんに聞く～みんなが知らない宇宙・ロケットの話～(宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門 イプシロンロケットプロジェクトチーム研究開発員 岡田修平さん)

参加企業・団体 主催:公益財団法人三重こどもわかもの育成財団(三重県立みえこどもの城)
協力:音楽研究所、株式会社サンエル、三重中学校・三重高等学校(東浦啓子先生・科学技術部・生徒会)、一般財団法人三重県環境保全事業団、松阪おもちゃの病院、松阪市、松阪市教育委員会、公益社団法人松阪青年会議所 ※敬称略・順不同

同日開催 まつかペットボトルロケット大会

場所 県営松阪野球場

松阪市、松阪市教育委員会、公益社団法人松阪青年会議所、公益財団法人三重こどもわかもの育成財団の4団体が連携協定を結び、子どもに科学への興味を持ってもらうことを目的として、県営松阪野球場で「まつかペットボトルロケット大会」を実施しました。

大会では、松阪市内の4～6年生の児童でつくられた48チームと、公募の「みえこどもの城チーム」が参加しました。それぞれのチームが作ったペットボトルロケットを、地上40メートル先の目標に飛ばして距離を競う「定点部門」と、作成過程や試行錯誤などを審査する「企画部門」があり、第一小学校のチーム「第一坂46」がなんと両部門で優勝! 夏空の下に元気いっぱいの声が響いていました。

敬老の日特別イベント 3世代で“和”を感じよう

令和元年9月16日(月・祝)

協力 柳屋奉善、三重県立相可高等学校食物調理科

3世代で“和”を楽しむイベントを敬老の日に実施しました。松阪の和菓子屋さん「柳屋奉善」の職人さん、相可高等学校の食物調理科の学生さんに教えてもらいながら3種類の和菓子を作りました。その後は、フルート奏者だんないさんによる演奏を聴きながら、作った和菓子をみんなで楽しみました。

三重県子ども虐待防止啓発事業 オレンジリボンキャンペーン 心をつなごう!はっぴ~オレンジデー

令和元年11月4日(月・振)

来館者数 約2,500名 協力企業・団体 20社85名 学生ボランティア 14名

オレンジリボンキャンペーンは、今回で7回目となります。今年は、新たに運動会仕立てで実施しました。地域のみなさまと子どもが一緒になって競技に取り組むことで、子どもの健やかな成長と笑顔を地域で守ろうと考えています。

協力企業・団体 ※敬称略・順不同
旭美容専門学校、宇野重工株式会社、株式会社エスト、岡三証券株式会社 松阪支店、有限会社ケアステーションたきび、株式会社ジェントリー、一般財団法人食品分析開発センターSUNATEC、有限会社深緑茶房、株式会社第三銀行、有限会社野瀬商店、万協製菓株式会社、株式会社ビコーアインプレス、株式会社ポンタイム、松阪飯南森林組合+三重県森林・林業経営課、松阪警察署、松阪ケーブルテレビ、ステーション株式会社、公益社団法人三重県歯科医師会、株式会社ミツイバウ・マテリアル、株式会社宮忠、旭電気株式会社、イセツ株式会社、ヴィラフェリスオリヴィエート、有限会社上野屋、株式会社エムワン(はあと薬局)、下津醤油株式会社、社会福祉法人長寿会なでしこ苑、日本写真判定株式会社、松阪市民病院、松阪地区広域消防組合、三重県歯科衛生士会(松阪支部)、社会福祉法人三重県社会福祉協議会、一般社団法人三重県介護福祉士会、一般社団法人三重県理学療法士会、三重コニックス株式会社、メモリアルフォトハウス ボージャルダン

みんなの想いが詰まった笑顔のメッセージカードで、オリジナルの啓発ポスターを制作し、協力企業・団体に配付しました。

完成披露イベント てづくりゲームプロジェクト

令和2年1月26日(日)

プロジェクトメンバー

三重県立四日市中央工業高等学校
旭電気株式会社
公益財団法人三重こどもわかもの育成財団

若者育成の一環として、企業と高校生をつなぐプロジェクト。2年目の今年度も素敵な「てづくりゲーム」が出来上がりました。



最初はゲームを簡単に作れるだろうと思っていましたが、限られた条件で作るのはとても難しかったです。夏休みは電気だけでなく、木材加工に取り組むことが多く、よい経験ができました。制御回路の設計も基礎から学ぶことで少しづつ力をつけ、様々な回路を設計することもできるようになりました。自分が設計・製作したゲームで子どもたちが楽しんでくれたらいいと思います。

くるくる
わなげ



このプロジェクトに携わって一番良かったことはシーケンス制御について学べたことです。最初はわからないことばかりで苦労しました。自分が設計した回路を変更した際、思いもよらぬ動作をしてしまい、戸惑ってしまった時も先生や他の部員に教えてもらったり、自分で調べたりして改善することができました。仲間と協力して製作したゲームで子どもたちが喜んでくれたらしいと思います。

このプロジェクトを通して、最初自分が図面に描いたゲームが、子どもの城や旭電気から様々な意見や改善点をアドバイスいただきて少しずつ形になっていくのが嬉しかったです。ゲーム製作を通じて、電気だけでなく様々な作業を行なうことで苦労することも多くありました。一生懸命作ったこのゲームで子どもたちが遊んでくれたらしいと思います。

私は子どもたちが遊ぶとき、安全に楽しめるることを常に意識してゲームを作成してきました。楽しく遊べるはずのゲームでケガをしないように的を加工したり、電圧が加わっている場所にカバーをつけて簡単に触れられないように工夫しました。試行錯誤を繰り返しながら完成させたゲームで子どもたちに楽しんでもらえたらしいと思います。

市川 勇太
電気科2年

松本 友真
電気科2年

私は丸い椅子を担当しました。大きい円弧をつくるのは難しいことでした。本当に出来ているのか?と心配になりながら作っていたので、家が採用された時は、自分でも驚きました。完成作品を見て集成材で作られた天板は、一枚板の木材とは違って、何種類も木目があつて綺麗だと思いました。アイデアを実現していただき、ありがとうございました。

わなげ9
市川 勇太
電気科2年

平野 廉人
電気科2年

完成披露イベント

子どもの椅子プロジェクト第4弾

令和2年2月8日(土)

プロジェクトメンバー

三重県立伊勢工業高等学校建築科
株式会社ビコインプレス
公益財団法人三重こどもわかもの育成財団

このプロジェクトは、「子どもが使って楽しい机と椅子を置きたい」という想いからはじめました。

4年目となった今回は家族と向かい合って楽しく食事ができる「三角の机と円形の椅子」を学生が考案し、株式会社ビコインプレスさんに作成していただきました。

完成した机と椅子は、1階チャレンジルームに設置されています。

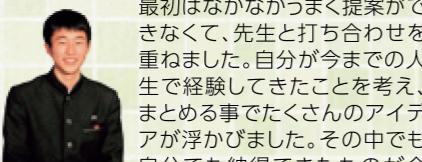
ぜひ、ご家族でご利用くださいね。



完成した机と椅子



今回のテーマの丸、三角、四角の木材を使ったマグネット作りのワークショップ



田端 稔平
建築科1年

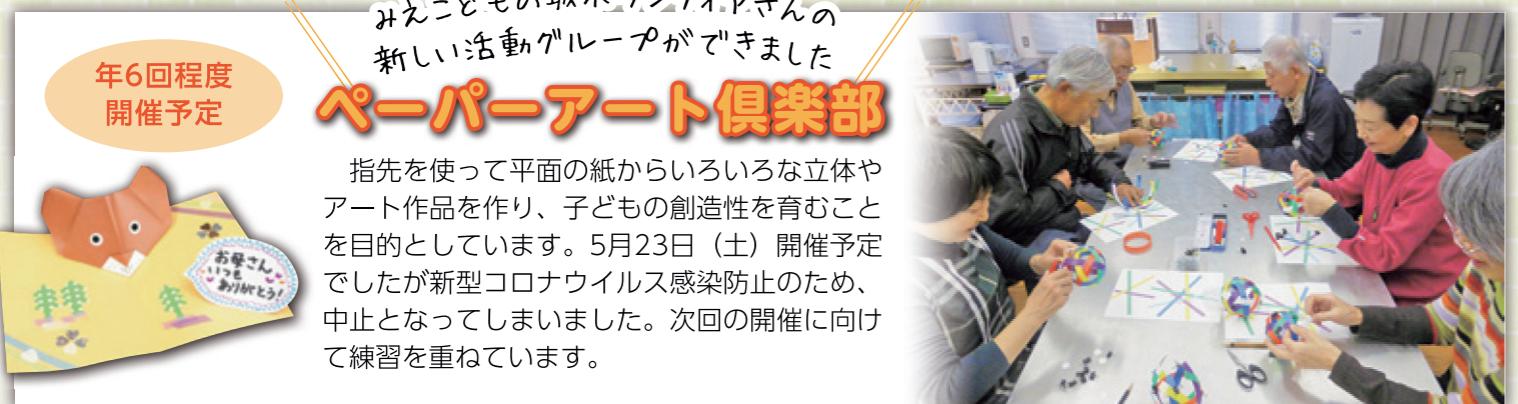
南 和
建築科2年

最初はなかなかうまく提案ができなくて、先生と打ち合わせを重ねました。自分が今までの人生で経験してきたことを考え、まとめる事でたくさんのアイデアが浮かびました。その中でも自分でも納得できたものが今回採用されてとても嬉しいです。ありがとうございました。

みえこどもの城ボランティアさんの新しい活動グレープができました ペーパーアート俱楽部

指先を使って平面の紙からいろいろな立体やアート作品を作り、子どもの創造性を育むことを目的としています。5月23日(土)開催予定でしたが新型コロナウイルス感染防止のため、中止となってしまいました。次回の開催に向けて練習を重ねています。

年6回程度
開催予定



令和元年度は、趣向をかえてわくわくのイベントホール!

3階まで吹き抜けのイベントホールは、年間8種類の“わくわく”を提案しています。

1階の入口付近とあって、来るたびに楽しめる空間がひろがっています！

3月23日(土)～5月19日(日) へんてこボウリング ～元気にころがせ！レツ☆ストライク！～



春休み、ゴールデンウィークを賑やかにしたのは、「へんてこボウリング～元気にころがせ！レツ☆ストライク！～」。城ボランティアさんの発案のもと、出来たボウリングは、まっすぐに投げることができない変なボウリング。リピーターが多く、約3,700名の子どもたちが体験ってくれました。

7月20日(土)～9月23日(月・祝) ゴーゴー！恐竜迷路 ～探検家になって恐竜のたまごをさがそう！～

夏休みのイベントホールは恐竜の住むジャングルに大変身！？リアルな恐竜の絵に、はじめは怖がっていた子どもも勇気を出して会場内のスタンプラリーを楽しみました。中には恐竜博士のような子どももいて、私たちが教えられることも。お土産の恐竜ノートも好評で多くの子どもの参加がありました。



12月21日(土)～令和2年2月11日(火・祝)

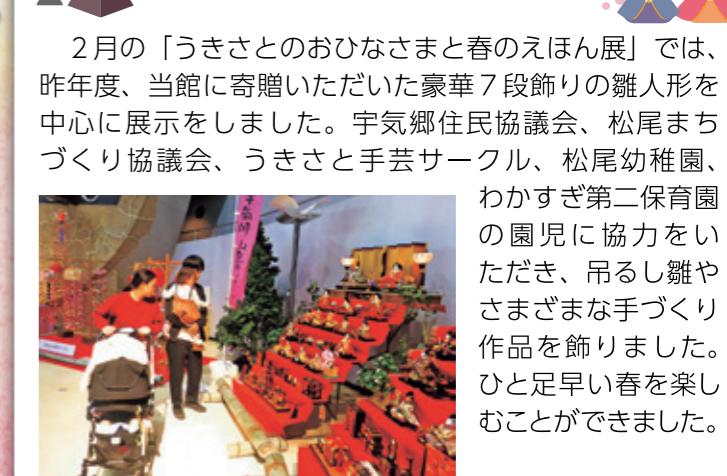
ウインターイルミネーション2019-2020 おしゃれでステキなティーパーティー



冬は、毎年恒例となっているイルミネーション！今年は、動物たちが森の中でティーパーティーをしているイメージで造りあげました。松阪市にある直三衣裳店さん、写真スタジオ ポー・ジャルダンさんに衣装協力をいただき、今までとは少し違うイルミネーションに仕上げました。ステキなドレスが間近で見れるとあって、多くの子どもが目をキラキラさせていました。

令和2年2月15日(土)～28日(金)

うきさとのおひなさまと 春のえほん展



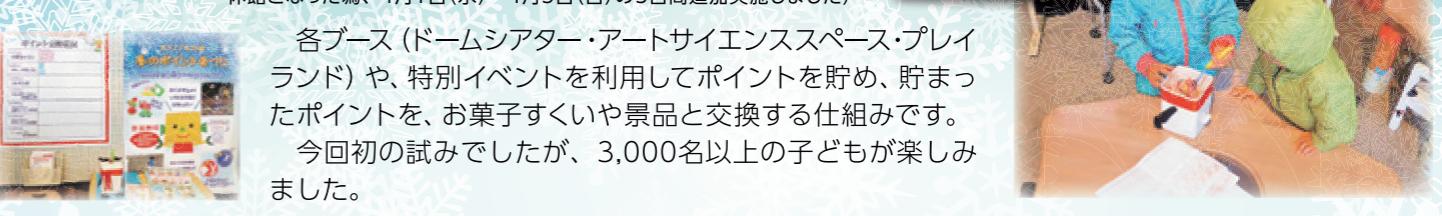
2月の「うきさとのおひなさまと春のえほん展」では、昨年度、当館に寄贈いただいた豪華7段飾りの雛人形を中心とした展示をしました。宇氣郷住民協議会、松尾まちづくり協議会、うきさと手芸サークル、松尾幼稚園、わかすぎ第二保育園の園児に協力をいただき、吊るし雛やさまざまな手づくり作品を飾りました。ひと足早い春を楽しむことができました。

※2月29日以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館となりました。

冬のポイントまつり

令和元年11月9日(土)～令和2年2月28日(金)

(新型コロナウイルス感染防止の為2月29日(土)～3月31日(火)まで休館となりた為、4月1日(水)～4月5日(日)の5日間追加実施しました)



各ブース(ドームシアター・アートサイエンススペース・プレイランド)や、特別イベントを利用してポイントを貯め、貯まったポイントを、お菓子や景品と交換する仕組みです。今回初の試みでしたが、3,000名以上の子どもが楽しみました。



令和元年度 みえこどもの城「こどもモニター」を実施しました

子どもの意見を直接聞こうということで始まった「こどもモニター」。今年で4回目の開催です。その内容と感想などは次のとおりです。

■あなたの年齢は？→ 幼児と小学校低学年の利用割合が全体の8割

幼児	小学校低学年	小学校高学年	中学生	計
57 (37%)	70 (45%)	21 (14%)	6 (4%)	154

※（）内は全体数に対する割合

■滞在時間はどのくらいでしたか？→ 午後からという人が全体の約6割、2～4時間以内の利用という人が約9割

	1時間以内	2時間以内	3時間以内	4時間以内	5時間以内	6時間以内	6時間以上	計
午前（～12：30）	1	3	19	3	0	0	26 (19%)	
午前から午後	0	0	0	16	7	6	32 (23%)	
午後（12：30～）	1	33	26	20	0	0	80 (58%)	
計	2 (1%)	36 (26%)	45 (33%)	39 (28%)	7 (5%)	6 (4%)	3 (2%)	138

※（）内は全体数に対する割合

■どこから来ましたか？→ 松阪市内の人の利用が約5割

松阪市内	三重県内	三重県外	未記入	計
76 (49%)	58 (38%)	19 (12%)	1 (1%)	154

※（）内は全体数に対する割合

■無料の人気スペースは？

1位	玄関前	141
2位	イベントホール	69
3位	カプラーム	50

利用者の低年齢化が進んでいるので、中学生や高校生の利用者を増やすために、普段から利用しやすい環境や、活動サポーターの育成に取り組んでいきます。

また、無料の一番人気スペースは、ディアボロや四回しなど遊び遊具が配置してある玄関前でした。自由記述でも、玄関前に無料で遊べる遊具を増やしてほしいと言う意見がたくさんありました。今後は遊具の種類を増やしていくとともに、屋外で楽しめるイベントも充実させていきます。

都道府県立児童厚生施設連絡会総会・管理職研修会の開催



令和2年2月18日(火)、19日(水)の2日間、三重県立みえこどもの城で都道府県立児童厚生施設連絡会総会・管理職研修会を実施しました。

この総会は、全国の大型児童館が集まり、各施設の情報や課題についての意見交換と相互交流を図るために、毎年加盟館が持ち回りで実施しているものです。

今年は、みえこどもの城が主催館となり、児童館ガイドライン改正（平成30年10月）に伴う大型児童館の機能・役割、新型コロナウイルス感染拡大防止への各館の対応状況などを話し合いました。

2日目は、みえこどもの城の館内見学と工作の体験が行われ、各館の皆様から「みえこどもの城さんはとても面白いことやっているね！」「ぜひ自分の施設の職員にも視察させたい」など高評価をいただきました。

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い みえこどもの城は休館しました

三重県立みえこどもの城は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年2月29日(土)から3月31日(火)まで休館しました。

その後、4月1日(水)から運営を再開しましたが、その際にはご来館いただく皆様に安心してお楽しみいただくため、様々な対策を行いました。

その他にも、屋外での遊びを充実（遊具の追加・補充、無料工作の実施など）させるとともに、運営スケジュールの変更、企画内容を変更するなどブースごとに対策を実施しました。

その後、4月15日(水)から6月1日(月)まで、県の要請により再度休館しました。6月2日(火)以降も、ウイルスの感染状況に応じて、対策を変更・追加して運営しています。



公益財団法人三重こどもわかもの育成財団

設立15周年記念事業

当財団は、令和元年4月に設立15周年を迎えました。15周年を記念し2つの事業を実施しました。

1 企業の地域貢献活動に関する調査の実施

令和元年9月に企業における地域貢献活動について、みえ次世代育成応援ネットワークの企業会員の皆様にご協力いただき、アンケート調査を実施しました。

「企業における地域貢献活動」をテーマに、地域貢献活動における企業の現状、考え方、要望等を聞き取りました。

調査結果からは、アンケートに回答いただいた144の企業のうち約8割がすでに地域貢献活動に取り組んでいるという結果が得られ、地域貢献活動に対する企業の意識の高さが伺えました。

今回の調査結果を踏まえた上で、今後も当財団が地域の拠点となり、子どもを取り巻く社会と地域をつなぐ役割を担っていきたいと考えています。

本調査に関する詳しい情報は、みえこどもの城ホームページ（<https://www.mie-cc.or.jp/map/>）よりご覧いただけます。

2 「はぐくみ隊のかんたんレシピ～親子で作って楽しむおやつ」の発行

同年12月には、みえこどもの城で毎月第3曜日に実施している食育事業「はぐくみタイ夢」にて、はぐくみ隊の皆さんと子どもと一緒に作ってきたおやつのレシピを、冊子として取りまとめました。

今回のレシピ集では、子どもと一緒に簡単に作れ、食べるとほっこりするものを中心に18レシピを掲載していますので、ぜひご家庭で挑戦してください。

※「はぐくみタイ夢」とは…

みえこどもの城のボランティアグループ「はぐくみ隊」の皆さんと、料理体験を通じて子どもに調理の楽しさ、食べることの大切さを親子で学んでもらうことを目的に実施しているものです。

1冊200円

みえこどもの城にて
有料配布中



令和元年度

公益財団法人三重こどもわかもの育成財団

決算報告書

貸借対照表

令和2年3月31日現在 (単位:千円)

科 目	当 年 度
I 資産の部	
1. 流動資産	37,672
2. 固定資産	399,438
(1) 基本財産	290,260
(2) 特定資産	108,608
(3) その他固定資産	570
資産合計	437,110
II 負債の部	
1. 流動負債	10,629
2. 固定負債	7,805
負債合計	18,434
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	377,910
(うち基本財産への充当額)	290,260
(うち特定資産への充当額)	87,650
2. 一般正味財産	40,766
(うち特定資産への充当額)	13,153
正味財産合計	418,676
負債及び正味財産合計	437,110

正味財産増減計算書 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで (単位:千円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	2,991
特定資産運用益	466
受託金	136,956
事業収益	19,203
その他収益	17,521
経常収益計	177,137
(2) 経常費用	
事業費	149,725
児童健全育成事業費	117,116
児童健全育成拠点事業費	11,269
青少年育成事業	15,095
三重県委託事業費	1,914
収益事業費	4,331
法人管理費	12,723
経常費用計	162,448
評価損益等調整前当期経常増減額	14,689
損益評価等計	0
当期経常増減額	14,689
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
(2) 経常外費用	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	14,689
一般正味財産期首残高	26,077
一般正味財産期末残高	40,766
II 指定正味財産増減の部	
一般正味財産への振替額	-10,873
当期指定正味財産増減額	-10,873
指定正味財産期首残高	388,783
指定正味財産期末残高	377,910
III 正味財産期末残高	418,676

通常の投影に加え、360度のドームスクリーンを活かした
様々なイベントをしています。

赤ちゃんのためのCDコンサート

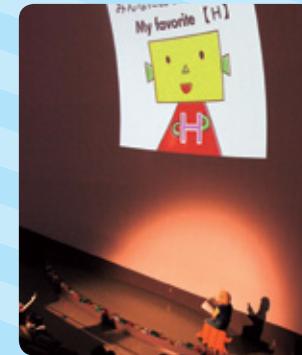
毎年、年4回ほど行っている大人気の赤ちゃんのためのCDコンサート！
「海の世界」、「のりものだいすき！」など、様々なテーマを決めシナリオから演出、プログラム全てシアタースタッフ手作りのみえこどもの城オリジナルコンサートです。ドームシアターのスクリーンに映し出す可愛くて楽しい映像や絵本の読み聞かせは、赤ちゃんだけでなく保護者の方にも大好評です。

「英語がテーマのコンサートをしてほしい」とアンケートで多くの要望があったので、令和2年2月14日(金)、15日(土)には「赤ちゃんのためのCDコンサート～はじめてのABC～」を行いました。

ABCのうたや数字を数える歌のほか、日本語でも聞いたことのあるキラキラ星などを全て英語バージョンで使用したり、星々をつないでアルファベットを形作ってみたり、初めて英語に触れるきっかけになれたと思います。

乳幼児向けのイベントで英語の曲を使用するのは初の試みでしたが、みんな目をキラキラ輝かせて、とても楽しそうに手遊びしながら踊ってくれました♪

コンサートが終わりドームを出していくときに、さっそく「good-bye」と言って手を振ってくれる子がたくさんいました。
保護者の方にも好評で、「毎月してほしい！」「とっても楽しかった！」などの嬉しい声が寄せられました。



季節やイベント
ごとに開催！

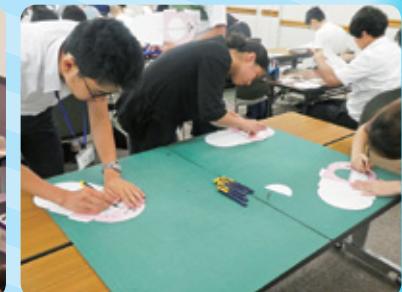
先生のための「星(天体)の授業づくり」研修会

令和元年7月30日(火)に、天文研究家 日本天文学会会員の浅田英夫さんをお招きし、県内全域の小・中学校／特別支援学校の初任者および2・3年次教員を対象に、学習指導要領に基づいた天文分野の基礎と授業にすぐに役立つ実践的な内容を中心とした研修会を行いました。

みえこどもの城のプラネタリウム学習番組視聴のあと、教員の方でも指導が難しいと言われることが多い星座早見盤の使い方を、実際に作成して紹介しました。

「教室での授業だけでは星の動きや宇宙空間がイメージしにくい」等の悩みが、授業中のプラネタリウム利用で解決できるのではと考えています。

プラネタリウムドームと浅田さんの最新情報等を活用して、星の授業に対する意識を深めることができた研修会となりました。



公益財団法人三重こどもわかもの育成財団からのお知らせ

①寄附のお願い

皆様からのご寄附により、公益財団法人三重こどもわかもの育成財団の活動が一層充実します

当財団が実施している次世代の三重県を担う児童・青少年の育成に関する様々な事業は、事業収入及び県立みえこどもの城の指定管理料によって運営しています。個人法人を問わず幅広い皆様からのご支援をいただくことにより、一層の事業の拡大・充実を図ることができます。

是非ご寄附をお寄せくださいますようお願い申しあげます。

寄附金の税の優遇措置

当財団は三重県知事より「公益財団法人」としての認定（平成24年4月1日移行）を受けています。

公益財団法人は税法上の「特定公益増進法人」に該当し、当財団が実施している公益目的事業を支援するために支出された寄附金については、税法上の優遇措置が受けられます。

〈詳しくは、税務署にお尋ねになるか、国税庁のホームページ (<http://www.nta.go.jp/>) でご確認をお願いします。〉

②みえこどもの城は平成31年4月1日から全面禁煙となりました

「健康増進法の一部を改正する法律」(受動喫煙対策)の施行に伴い、館内及び敷地内は全面禁煙になっています。ご理解とご協力をお願いします。

③広報機関誌「わかすぎ」について

わかすぎの発行は令和元年度から年1回の発行となりました。次回の発行は、令和3年7月の予定です。

